

金沢区の歴史は埋立の歴史

～横浜金沢・まちの変遷～

横浜金沢には、現在の東京湾に面した海岸線だけでなく、「瀬戸の内海」と呼ばれた内海があり、海岸線や内海と陸地の織りなす美しい景色を求めて、多くの人たちが金沢を訪れていました。その後、徐々に土砂が堆積した内海は「泥亀新田」を代表として多くが埋立てられました。また、近代以降は海岸線の埋立ても進み、産業団地や住宅地が整備されました。本講座では金沢区の歴史と街の変遷を埋立ての視点から広く学び、それにまつわる場所を訪ねます。

※雨天決行。1日2回の連続講座です(間に休憩、40分程度の街歩きがあります。荒天の場合は街歩きを中止)。

日時：2月17日(月) 9:30～12:00

講師：はやし よしはる
林 善晴 (NPO 法人横濱金澤シティガイド協会)
なかにし まさひこ
中西 正彦 (横浜市立大学国際教養学部教授)

※予備日:3月4日(火)

受講対象 / 一般・高校生

持ち物 / 無線ガイドシステムを使用します。ご自分の有線イヤホン(φ3.5mm)を必ずご持参ください。

受講料 / 全2回 3,400円(機材・保険料込。本学卒業生は割引になりますので、お申し出ください)

定員 / 30名

申込 / 事前にホームページ・電話・FAXのいずれかにてお申込みください。

会場受付 / 講座開始の30分前から受け付けます。

会場 / 横浜市立大学 金沢八景キャンパス (横浜市金沢区瀬戸 22-2)

(アクセス) 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

企画監修 / 中西 正彦(横浜市立大学国際教養学部教授)

主催 / 横浜市立大学地域貢献センター

共催 / NPO 法人横濱金澤シティガイド協会

一般社団法人横濱金沢観光協会、

後援 / 横浜市総務局、横浜市金沢区役所



※右記QRコードから講座詳細画面に進みます。

